

株式会社ウィズリンクメディア掲載情報

中国新聞

2011年(平成23年)2月3日(木曜日)

就職難 大手志向に風穴を

新卒採用攻める中小

大企業が新卒採用を抑制する中、中国地方の中小企業の一部が積極採用に動いている。成長分野などへの挑戦を担う人材の不足が課題とされる中小企業。学生の大企業志向は根強いものの「やりがいのある中小企業に目を向けて」と呼び掛けている。
(樋口浩二)



技術力や成長アピール

「若手にも大きな仕事を任せる。技術力を身に付けたいならぜひわが社へ」。半導体関連部品の板金加工を手掛ける高村興業所(廿日市市)の高村正和社長は、面接などで学生にアピールしている。

同社は社員約60人。2011年春は、ITバブルで受注が好調だった01年春に次ぐ水準となる9人を採用する。対象は高卒や大卒者。生産が高水準なため工場に2交代制を導入する狙いだ。中長期的には「若い人材を育てて技術伝承を進めたい」との思いがある。

将来の幹部候補

ラーメンチェーン「ばり嗎」などを展開

過去最多の新卒採用数を予定するウィズリンクのラーメン店。若手育成を重視し、新入社員の大半を店舗に配置している

(広島市佐伯区)

するウィズリンク(広島市安佐南区、社員約40人)は12年春の採用で、過去最多の15人の採用を予定する。対象は大卒者。中国地方を中心に直営とフランチャイズで約50店を持つ同社は、11年中にも10店の出店を計画しており、店長をはじめ将来の幹部候補を手厚くする考えた。

インターネットでのエントリー受け付けも11年春採用より200人多い1100人に達したという。総務部の江口順爾チーフは「就職難とされるが、熱心な学生は多い」と手応えを語る。

「会社が成長していることを学生にアピールしている」というのは、スチールワイヤ製造のシャパンファイニング(山陽小野田市、社員約210人)。10年春は9人だった高卒、大卒などの新規採用を11年春は過去最多の31人とし、12年春も約20人を見込む。

太陽電池部品の切断に使われるワイヤの出荷が前年比で3割増と伸びており、生産の担当者と技術者を増員する。同社の役員は「好景気だと学生の目は大手に向きがちだが、今は好機」と話す。